

平成 30 年度 コミュニケーションチームの活動状況について

(1) 検討会議の開催

第 1 回検討会議

日 時 平成30年 5 月 23 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00

場 所 かながわ県民センター 12 階第 1 会議室

出席委員 相川 委員、小笠原 委員、倉橋 委員、滝澤 委員、高橋(貴) 委員、豊田 委員、
西 委員、増田 委員、森本 委員

第 2 回検討会議

日 時 平成30年 7 月 2 日 (月) 18 : 00 ~ 20 : 00

場 所 かながわ県民センター 3 階 305 会議室

出席委員 相川 委員、小笠原 委員、倉橋 委員、高橋(貴) 委員、豊田 委員、
西 委員、増田 委員、森本 委員

概 要

第 1 回検討会議 (5 月 23 日 (水))、第 2 回検討会議 (7 月 2 日 (月)) を開催し、今年度作成する絵本・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」と、施策紹介展示パネルの内容について検討を行った。

1 絵本・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」の作成

第 1 回検討会議にて、平成 29 年度に検討したストーリーと絵コンテをもとに原画作成担当者とイラストデザインのイメージを共有し、簡易絵コンテ (別紙 1) を作成した。

また、第 2 回検討会議にて簡易絵コンテをもとに内容を精査し、本原稿作成に向けて調整を行うほか、巻末コラム原稿案 (別紙 2) の検討を行った。

2 施策紹介展示パネルの作成

第 1 回検討会議にて、パネルの新規作成枚数及びテーマの検討を行い、新たに「水源環境保全税」、「森」、「川」、「シカ」をテーマとした分かりやすい施策紹介パネルを作成することとした。

また、第 2 回検討会議にてパネルの内容を検討し、継続使用するパネル 2 枚とそれぞれ統一性を持たせたデザインで、水源環境保全・再生事業を簡潔に紹介した内容のパネルを作成することとした (別添 3 参照)。

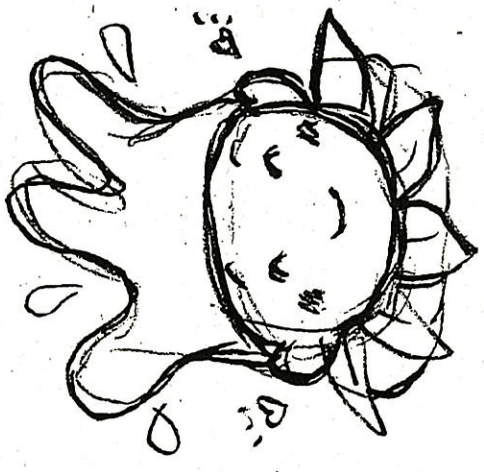
(2) 県民フォーラム (もり・みずカフェ) の運営参加

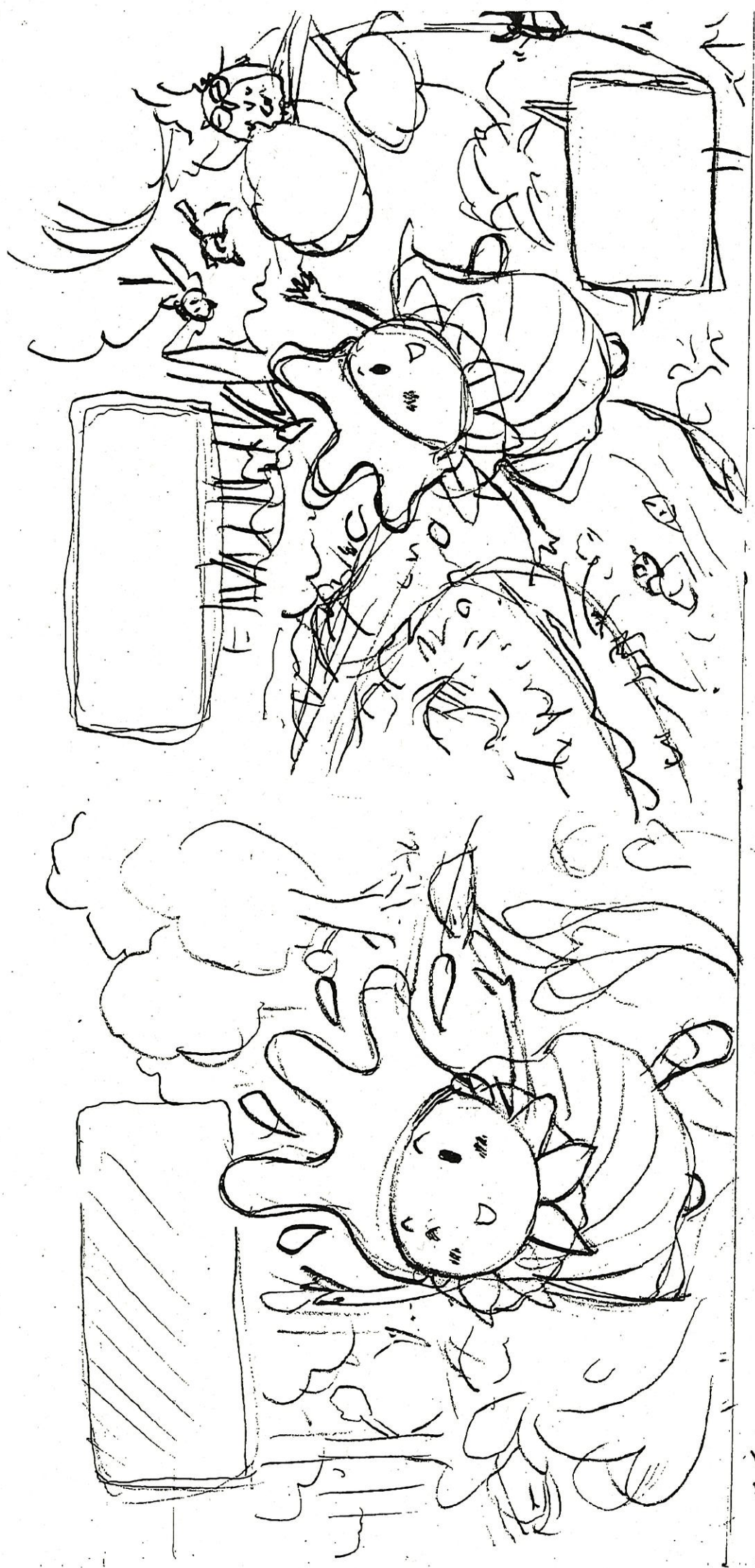
県民フォーラムチームと連携して、第 39 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム (平成 30 年 5 月 26 日 (土) 開催) の運営にチームメンバー 2 名が参加し、水源環境保全・再生に係るこれまでの取組についての情報提供や県民意見の収集を行った。

『かながわしずくちゃんと森のなかまたち』

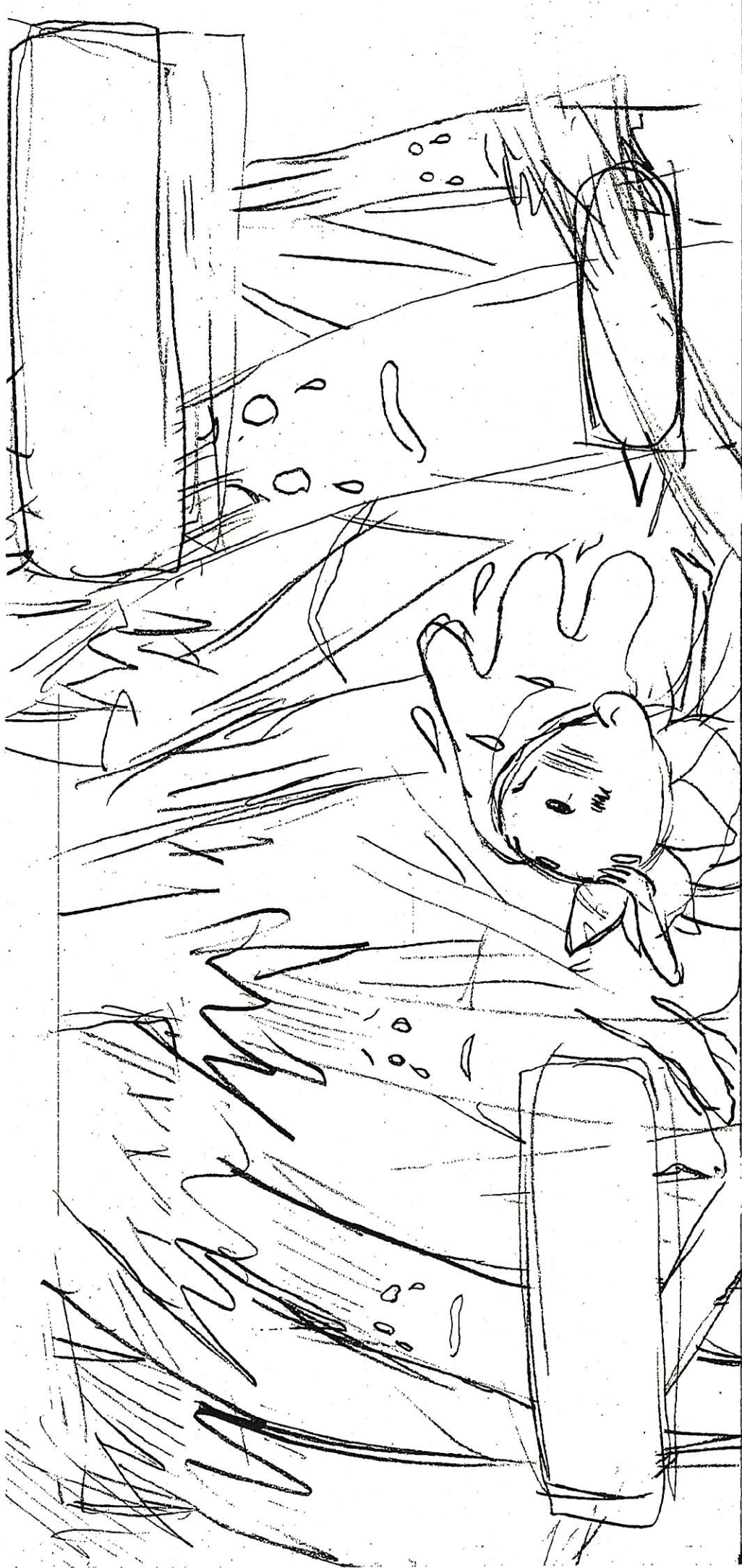
簡易絵コンテ

2018年7月2日（月）第2回検討会議資料

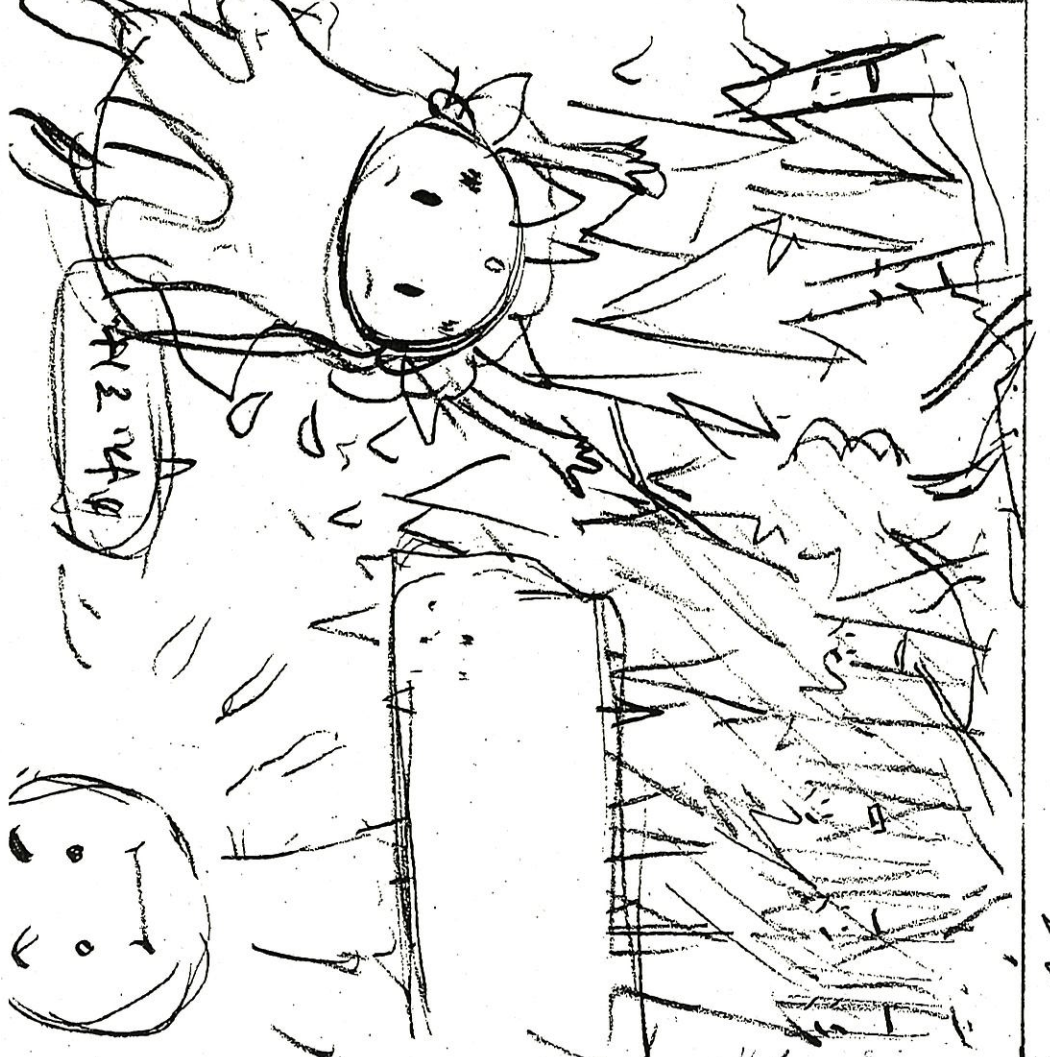




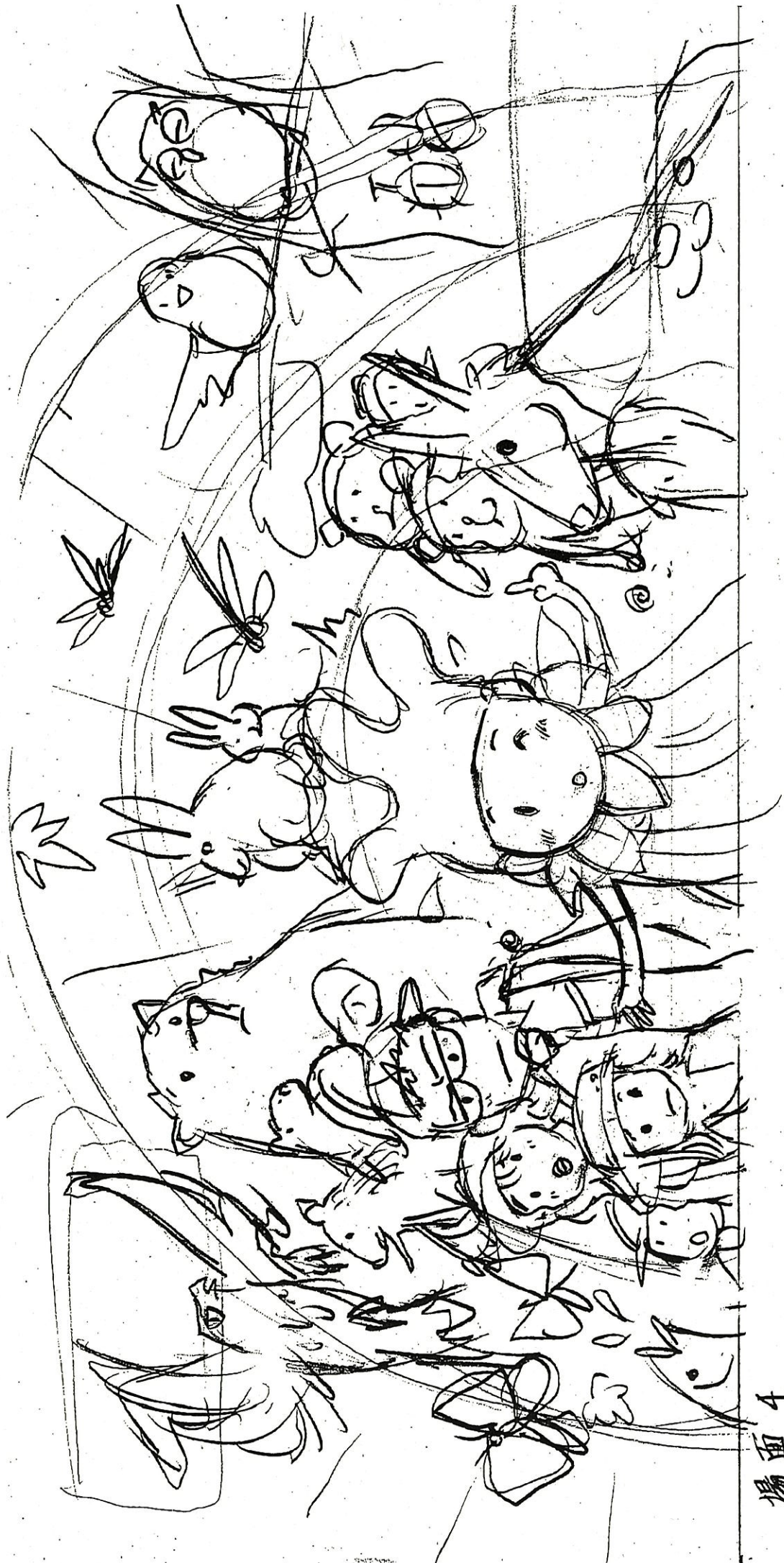
場面一



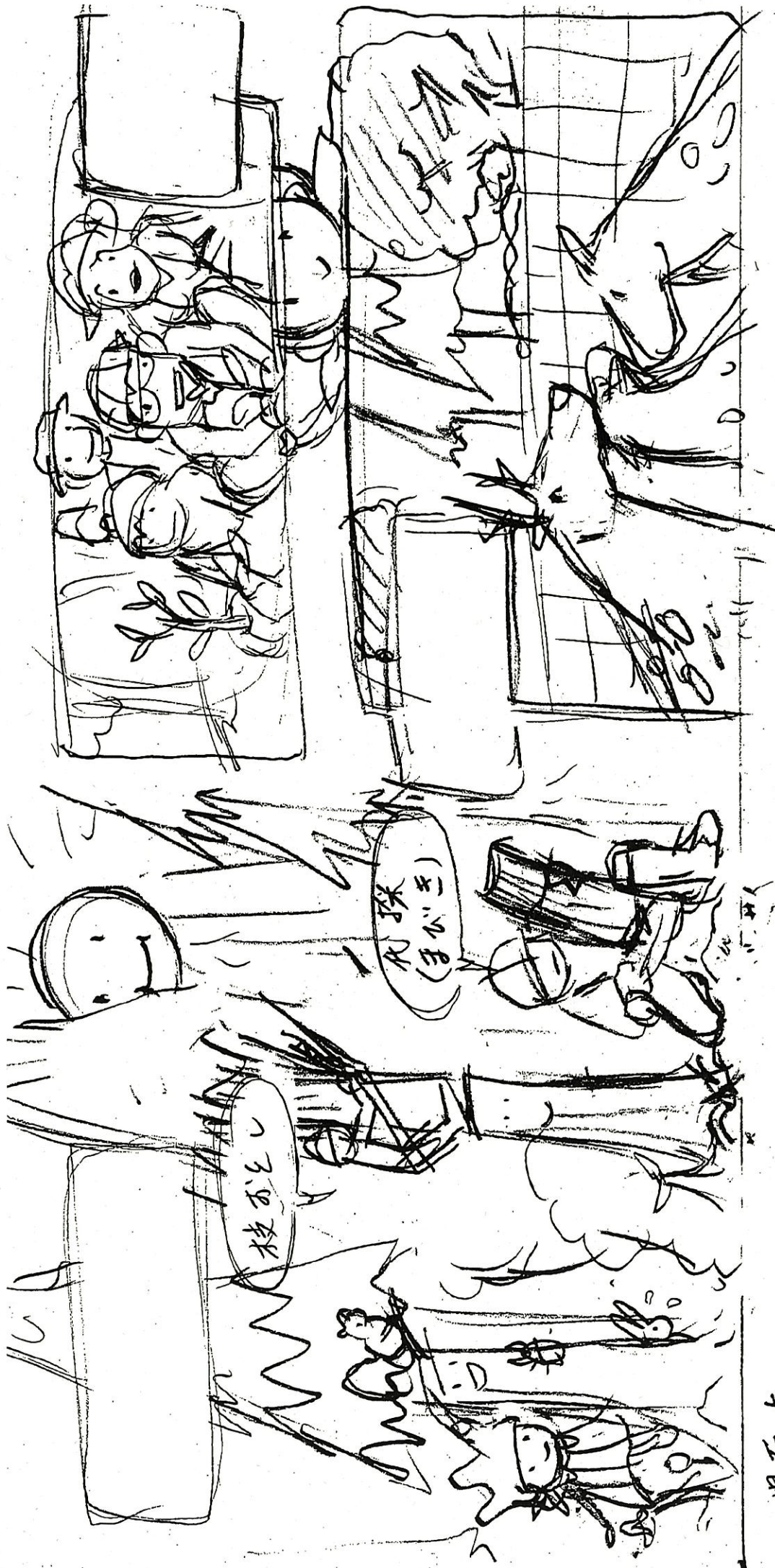
場面 2



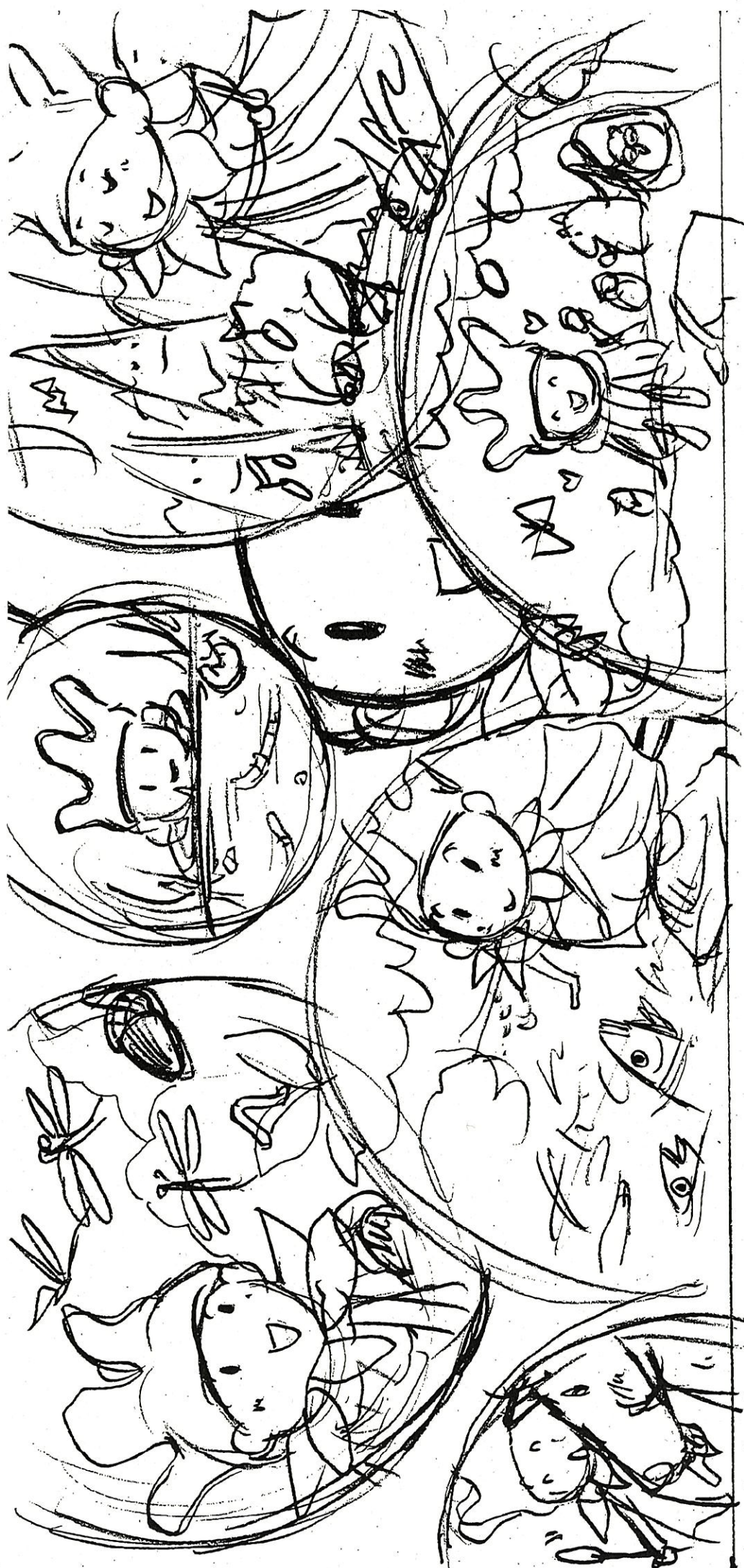
場面 3



場面 4.



場面 5



場面 6

おわりに・・・

森は、雨水を土の中に貯え、綺麗にし、
少しずつ川に流れ出すようにするはたらきがあります。

また、水源の森を保全・再生することで、
質の高いおいしい水が生まれます。

私たちの飲み水は、森によって生まれ、
安定して供給されているのです。

その水のふるさとである水源環境を守るために、
神奈川県ではしずくちゃんたちが行動したような、
さまざまな取組を行っています。

このほかに、森には
「家や紙などの材料になる木を育てる」
「山崩れや洪水を防ぐ」
「空気を綺麗にする」
「いろいろな生き物のすみかになる」
「すてきな景色を楽しませてくれる」
などの役割もあります。

森を守ることは、さまざまな面で
私達の生活を豊かにし、守ることに繋がるのです。

※右側ページを無地とする

かながわの森と水を支える取組

※左側ページに情報を記載する

910万人を超える県民が毎日使うかながわの水。
それを育む水源環境を守るために、県民の皆さんに
「水源環境保全税」（個人県民税の超過課税）という
特別なご負担をお願いしています。
県では、県民のみなさんから頂いた「水源環境保全税」を
もとに、水源環境を保全・再生する取組を進めています。

納税者一人当たりの平均負担額は？・・・年額約 890 円
適用期間は？・・・平成 29 年度から
平成 33 年度まで
税込規模は？・・・年額約 40 億円

かながわの森と水（水源環境）は、県民の皆さんに
支えられています。



自然豊かな川 ▲

▲ 下草が生長した森

みんなで支えて
いるんだね！



問合せ先
神奈川県環境農政局緑政部 水源環境保全課
Tel 045-210-4352 Fax 045-210-8855

※左側ページに情報を記載する



